

脳卒中で入院された患者様の日常生活動作に関する調査についてのお知らせ

脳卒中は突然発症し、体に何らかの機能障害を残すことのある病気です。そのため、これまで不都合なくできていた日常生活が、障害により上手くできないことがあります。

小倉記念病院脳卒中専門病棟では、このような機能障害を客観的に評価（Functional Independence Measure:FIMと言います）し、日常生活をより良く送るための話し合い（ADLカンファレンスといいます）の指標としています。話し合いにより計画実行された看護ケアやリハビリの効果を調査し、より効果的な支援が出来るよう検討する事になりました。この調査を通してよりよい看護を提供していきたいと考えております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2017年4月から2021年11月の間に脳卒中でSCU・総合6階に入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、在院日数や日常生活動作、意識レベルなどについて情報から入院期間との関連を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

SCU病棟 看護師 渡邊 俊一

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

